



1年間の教育活動を振り返って

校長 石田 耕士

生徒の皆さん、今年度も間もなく「修了」となります。一年間を振り返るといかがだったでしょうか。保護者の皆様、日頃から本校の教育活動にご協力とご理解をいただき、ありがとうございました。お蔭様をもちまして、年度末を迎えることができました。

令和6年度は、これまでコロナ禍のために縮小していた学校活動を、平常に向けて取り組んでいくことができました。文化祭、村民運動会、移動教室、修学旅行等の学校行事を始め、教育活動全般をとおして、コロナ禍以前の活動を取り戻したことは、大きな意義があったと感じております。

さて、今年度について、次の3点を振り返りたいと思います。

1 文化祭

これまで縮小して活動していた文化祭でしたが、今年度は食品販売も復活し、コロナ禍以前の状態に戻すことが出来ました。大変喜ばしいことです。今年度の活動では、まず完全な形で実施することが目標であり、その目標を達成することが出来ましたので、来年度は、より良い文化祭をどう実施するかが目標となります。生徒の皆さんが中心となり、進めていってほしいと願っています。

2 太鼓部関東大会出場

東京都を代表して、関東大会に出場いたしました。これは、初めてのこととなります。日頃から熱心に活動している成果であるとともに、顧問や部活動指導員の先生方の指導、さらには保護者や村民の皆様のご支援の賜物と考えております。今、さらに次の目標に向けて、練習を重ねている姿を見かけます。引き続き頑張ってもらいたいと思います。

3 卒業と進路実現

3年生が全員卒業そして進路決定できましたことです。4月からは、新しい学校へ進学となりますが、健康に留意して新たな自分を発見し、広い視野を獲得し、力強く上昇してほしいと願っています。

さて、令和6年度もいよいよ最後の1か月です。生徒の皆さん、1年間お疲れ様でした。保護者の皆様、本校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。令和7年度も「よりよい新高」を目指して、一步一步進んでまいりましょう。引き続き、よろしく願いいたします。

☆ 3月予定表 ☆

4日(火)~7日(金)	学年末考査(1・2年)
8日(土)	卒業式
10日(月)	振替休日
11日(火)~12日(水)	答案返却日
17日(月)~24日(月)	午前授業
20日(木)	春分の日
25日(火)	修了式、離任式



1年間を振り返って

各学年の代表生徒から

1年生

新しい環境で新しい仲間ととても濃い1年を過ごすことが出来たと感じます。文化祭では食販が再開され、沢山の方々に足を運んで頂き完売続出でした。また、2日目の舞台発表では3学年と有志の発表により大いに盛り上がったことを覚えています。しかし、私たち1年生は文化祭を除いて、ほとんどの行事において天気運に恵まれなかった1年でもありました。ハリーポッターでは、約2ヶ月前から準備を始め、楽しみにしていました。1週間前に当日の予定が配られワクワクしていると、このままの予報だと行けないかもしれないという話が出てきました。前日の夜船が欠航し、全校が行けないと悟ったものの先生方が尽力してくださり飛行機という新たな移動手段を期待させてくれました。しかし、2月13日木曜日午前10時頃、HR委員の庄野さんから一本の連絡が入りました。それは「2便欠航」という内容でした。2便は欠航したもののその後の便は全て運航しました。呪いの子は私たち1年生でした。学級委員の庄野さんによると、電話越しの中野先生の声はとても悲しそうにしていたそうです。中野先生、こちらこそ本当に申し訳ないです。今年の修学旅行はなんとしてでも晴らしましょう。雨女、雨男ばかりの学年ではあるものの、ハプニングだらけの楽しい一年を過ごすことが出来ました。

2年生

2024年を振り返ってみるととてもあっという間に感じました。一年生の頃と比べるとテストや、行事、部活などより忙しくなるものが多くなったからだとおもいます。その中でも、この二年生の皆さんはみんな協力し合いながら成果を出し、やり遂げることができていました！忙しくなることもありました、その分やりがいも感じられ、さらに絆が深まったような気がしました！私が一番このクラスの絆が深まったと思う事は、駅伝マラソン大会です。本当は文化祭や修学旅行などもっとたくさんありますが、書ききれない為、省略させていただきたいと思います。駅伝マラソン大会。これは学校としての行事ではないです。しかし、二年生みんなで駅伝を走り切れたことで、仲間同士の絆を深められるきっかけに繋がったと思います。練習は凄く大変でしたが、諦めずに全員で走り切れたことが凄く嬉しかったです。

2024年はとても充実した一年になりました。三年生になると、進路や、受験など大変なことが多くなります。その中でも、行事や新しく始まる授業を楽しみたいです！

一年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

3年生

高校生活は長いようで短い三年間でした。楽しい思いも苦しい思いも経験し、あっという間に過ぎていってしまいました。その中でも印象に残っているのは、高校二年生の五月頃のことです。急に気分が悪くなり、授業を受けるのもしんどいほどでした。体調不良ぐらいすぐに治るだろうと思っていましたが、いつまでたっても治りませんでした。病院にいっても原因不明で何をしたらいいかも分からず、辛く苦しい生活を送っていました。そんなときに、家族や担任の先生、友人が気にかけてくれたことで心の支えになり、少しずつ症状は楽になりました。8月の中旬頃にやっと回復し日常が帰ってきました。当たり前が一番幸せだと身に染みて感じた出来事でした。文化祭や修学旅行、体育祭と様々な行事も印象的でしたが、教室で友人と話す何気ない日々こそがかけがえのない思い出なのかもしれません。ここでの暮らしもあとわずか、とても寂しさを感じています。私は正直まだ高校生でいたい気持ちが強く、今までの友達と新島でずっといらいたいと思うこともあります。でも、みんな新島を出て新たな一歩を踏み出すことになります。内地では一人暮らしになり、家族も見知った友人もいなくなります。そんな心細い状況ではありますが、今までお世話になった人への感謝の気持ちも忘れずに、大学生活を楽しみたいです。本当にありがとうございました。

各担任の先生方から



1年生担任

入学して1年が経ちました。島外から3名が加わり8人で過ごしましたが、この1年はいかがでしたか。土壇場で形になった文化祭のギャル語クイズ、時間に遅れることなく集合できたインターンシップ、履歴書、日誌、お礼状書きは本当に苦戦していましたね。何か身についたり身についたものがあればうれしいです。来年は君たちが学校をまとめていく立場になっていきます。先輩の動きをよく見てください。どんな学校にしていくなのか、楽しみにしています。さて新島高校での学校生活は残り2年です。残り2年何をしますか。やりたいことはできていますか。周りの意見や考えに流されていませんか。自分の意志を持っていますか。なんてことを私自身も思いながら毎朝走っています。最後に一言、ハリーポッター行きたかったな。

2年生担任

生徒会広報誌「塔」にも書きましたが、「あっ」というまの一年でした。しかし、学校だよりを読み返すと、去年も「あっという間の一年でした」と書いていました。おそらく来年度もあっという間の一年で、あっという間に卒業を迎えるのでしょうか。そう考えると、早くも少し寂しいですね。さて、この一年を振り返ると、あっという間だったけれど色々なことがあった一年でした。久々の食品販売を実施した文化祭や、なんとか実施にこぎつけた修学旅行、学校行事ではありませんが、島民祭りへの出店や駅伝マラソン大会など本当に盛沢山でした。一つ一つ所感を述べたいところですが、書ききれない為、省略させていただききたいと思います。折り返し地点も過ぎ、高校生活も残すところあと一年。三年生の進路講話を聴いて、実感を持った人も多いと思います。受験生0学期を終え、いよいよ本当の受験生です。先輩方に続けるよう、進路実現に向けた奮起を期待します。そしてその中でも、行事や新しく始まる授業を楽しみましょう。

3年生担任

「人事尽くして天命を待つ」という言葉を、私は割と気に入っている。努力をしない人間に神は微笑んでくれない。この学年には微笑んでくれたのではないだろうか。この3年間の思い出について振り返りながら、ご利益（≒天命）について記述する。

まずは豆まき。節分の豆まきを競技形式で行うという何とも罰当たりな提案をしたわけだが、クラスの同意もあり、無事2年間続けることができた。皆さんの楽しそうな表情を今でも鮮明に思い出すことができる。反省点は、3学年時も登校日を設定して実施すればよかったということだ。豆まきのご利益により、クラス全員の合格が成就したに違いない。

次に、太宰府天満宮の学業成就お守りへのお祈りタイム。大学受験組の試験前に必ず行った我がクラスの儀式である。後ろの席からは見えないほどの小さなお札に、皆揃ってお祈りをしている姿がなんともシュールかつ素直でかわいらしかった。クラスが団結している空気感を味わえるので、とても好きな時間だった。反省点は、専門学校組の頃からやらなかったことだ。お祈りタイムのご利益により、クラス全員の合格が成就したに違いない。

最後は面接練習。進路指導部実施の回を除いて、一人2回は必ず面接練習を実施した。回を重ねるごとに上手になっていく姿を間近で見ることができ、非常に貴重な経験となった。反省点は、ない。一人ひとりの最後の面接練習の際、私は必ず「受かりますように」と念を込めていた。私の念のご利益により、クラス全員の合格が成就したに違いない。

さて、実のところ、上記の三つの思い出に関する「ご利益」が本当にあったのかどうかはわからない。しかし、これだけは言える。クラス全員の合格が成就したのは、「一人一人の並々ならぬ努力」があったからに他ならない。なぜなら、人事を尽くした者にしか神は微笑まないからである。これからの人生においても、高校3年間同様、努力し続けてほしい。

大会報告

〇テニス部

令和6年12月26日 第30回東京都立高等学校テニス選手権大会へ出場しました。男子シングルスで1名がエントリーし、全力を出し切りました。3年生が引退してから、部員が1名となってしまいましたが、多くの方のサポートを受けながら、遠征に向けて練習をしてきました。たくさんのご声援、ありがとうございました。引き続き、4月の遠征に向けて頑張ります！



〇太鼓部

令和6年12月15日「第47回東京都高等学校文化祭～第33回郷土芸能部門中央大会発表会～」に参加し演奏発表をしてきました。1か月前に島民祭り、離島直前まで期末考査があるなど非常に厳しい日程ではありましたが、直前の壮行会でも多くの島民の方から温かく熱いエールをたくさんいただき、ベストパフォーマンスを果たしてることができました。チームとしては惜しくも銀賞でしたが、4名が審査員特別賞を受賞（3年生徒は3年連続受賞の快挙！）することができました。これからも変わらず、島を盛り上げたい気持ちや島民の方々への感謝の気持ちを演奏に乗せつつ、より高みを目指し楽しく苦しま練習を重ねてまいります！ご声援、本当にありがとうございました！

